

Vol.160 「中高生のSDGsに関する意識」

最近、「SDGs（エス・ディー・ジーズ）」という言葉がメディアに取り上げられる機会が増えています。「SDGs」は、持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを基本的な理念としていますが、言葉を初めて聞く、内容がよくわからないという人も多いのではないのでしょうか？今回は中高生の「SDGs」の認知度や関心度、社会貢献に対する意識について調査しました。



調査概要

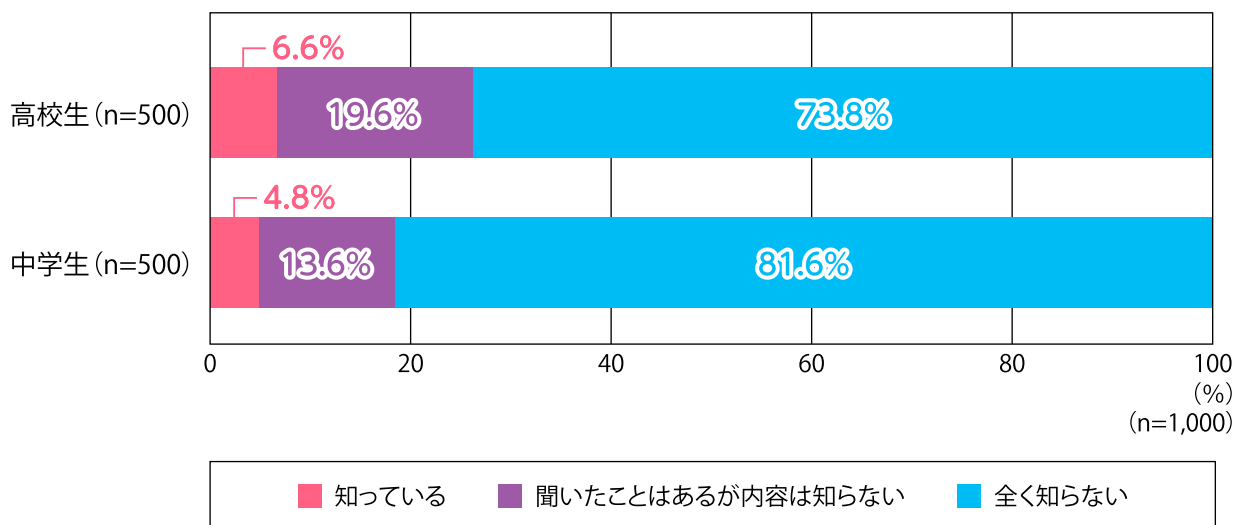
調査対象：全国の中高校生の男女 1,000人

調査方法：インターネットリサーチ

実施時期：2019年3月

Q 1. 「SDGs」の認知度

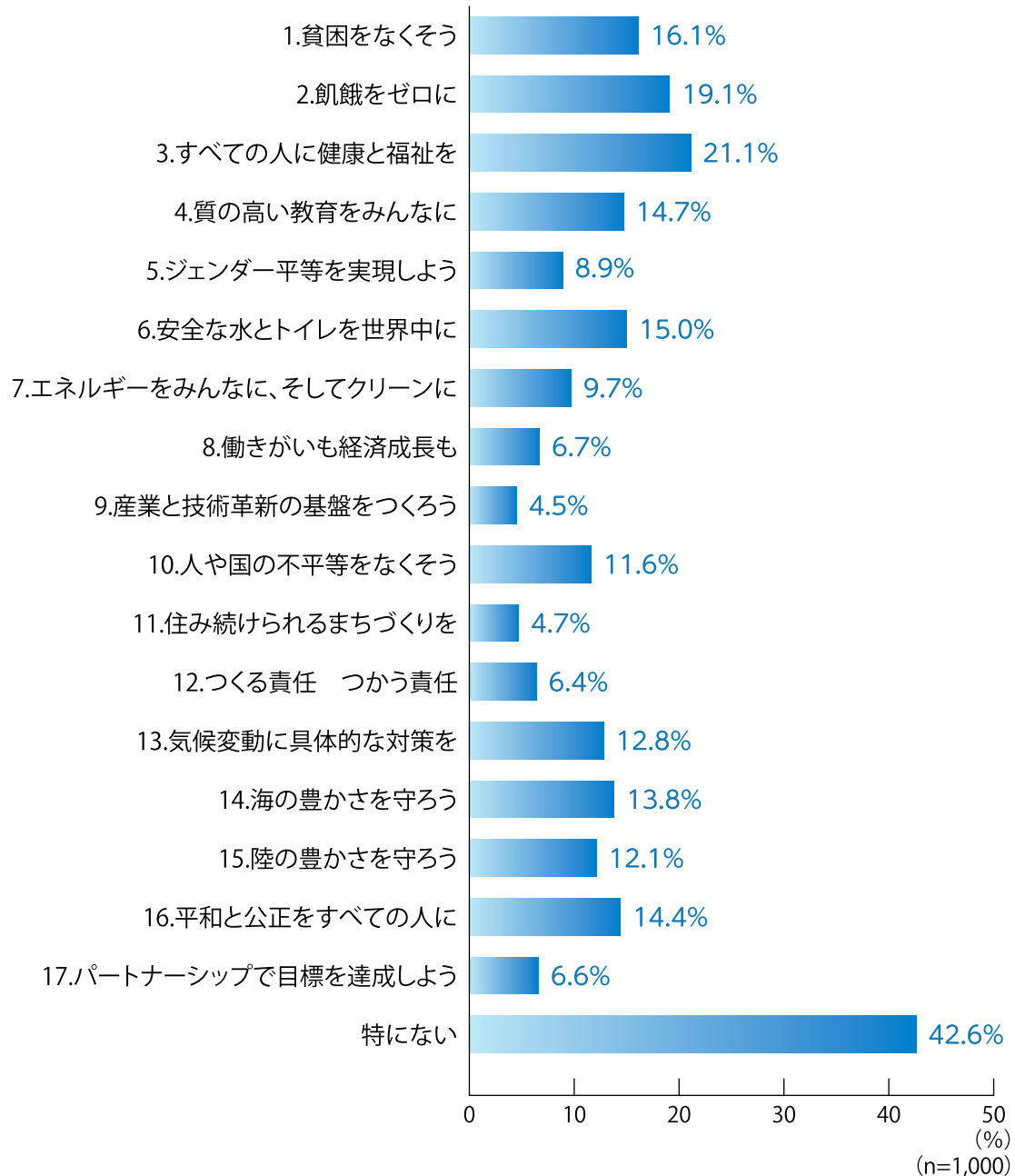
全国の中高生にSDGs（持続可能な開発目標）という言葉を知っているか聞いたところ、高校生は「知っている」（6.6%）、「聞いたことはあるが内容は知らない」（19.6%）をあわせると認知度は2割を超えています。中学生は「知っている」（4.8%）、「聞いたことはあるが内容は知らない」（13.6%）をあわせると認知度は2割に満たないという状況でした。



【図1】 あなたは、SDGs（持続可能な開発目標）という言葉を知っていますか。（単数回答）

Q2. 「SDGs」の関心度

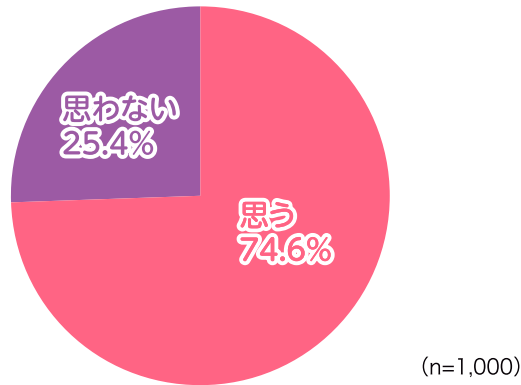
SDGs（持続可能な開発目標）の17の目標で関心のある目標は、「3. すべての人に健康と福祉を（あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する）」（21.1%）、「2. 飢餓をゼロに（飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する）」（19.1%）、「1. 貧困をなくそう（あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ）」（16.1%）という目標が上位に選ばれました。また、「特にない」（42.6%）という回答が最も多いという結果になりました。




【図2】 SDGs（持続可能な開発目標）の17の目標のうち、あなたが関心のある目標は何ですか。（複数回答）

Q 3. 社会貢献への意向

中高生の社会貢献への意向は、社会貢献をしたいと「思う」(74.6%)、「思わない」(25.4%)という結果となり、社会貢献をしたいと思っている中高生は7割を超えました。



【図3】 あなたは、社会貢献したいと思いますか。(単数回答)

 まとめ

SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

今回、全国の中高校生を対象にSDGs(持続可能な開発目標)の認知度を調べたところ、高校生は「知っている」(6.6%)、中学生は「知っている」(4.8%)という状況で、SDGsについて内容まで知っているという中高生は非常に少ないという結果になりました。また、SDGs(持続可能な開発目標)の17の目標で関心のある目標は、「3.すべての人に健康と福祉を」、「2.飢餓をゼロに」、「1.貧困をなくそう」などが選ばれましたが、目標への関心は「特にない」(42.6%)という回答が最も多く、SDGs(持続可能な開発目標)の関心の低さがうかがえました。一方で、社会貢献をしたいと「思う」という回答は7割を超えていて、社会のために貢献できることがあれば何かをしたいと思っている中高生は多いようです。

中高生のSDGs(持続可能な開発目標)の認知度や関心度は非常に低い状態です。しかし、社会全体をみると、環境省や外務省など省庁の動きとともに、SDGs達成に向けた優れた取り組みを提案する29の自治体が「SDGs未来都市」として選定されたり、学校の授業や入試などでもSDGs課題が取り上げられていたりしていることから、学校教育現場においての注目は年々高まっているようです。国際目標と言うと遠い話のように感じますが、国際的な視野を持ち、課題を知り、持続可能な社会を形成していくために、一人一人が自分でできることにチャレンジすることが期待されています。

毎月最終
火曜日
更新

カンコーホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

カンコーホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。
ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>